

まありに

「森のあそび場」づくりは、北海道における幼児教育を一層豊かにするため、○幼児の「主体的な遊び」を実現する「場」とはどのようなものなのか（遊び場の内容や条件）

○どのように整備するのか（遊び場の整備の仕方）
について、国立大雪青少年交流の家からのひとつの御提案となっています。

当所を御利用いただき、森の遊び場を満喫していただけるとありがたいのですが、私たちの一番の願いは、こうした遊びの環境が全道の至る所に整えられていくことです。もちろん、予算をかけて公園を整備するということではありません。地域住民が幼児期における自然の中で、主体的な遊びの重要性に対する理解を深めながら、子供たちのために当事者意識をもって、地域の手づくりあげていくことです。

今回は、美瑛町の青葉幼稚園のおやじの会の皆さんに御協力いただき、次のような段階を経て整備を進めました。

第1段階
幼児教育に対する理解を深める段階
幼児教育に対する学びの場を設定

第2段階
直接的な受益者の中から賛同者を探し、協力を得る段階

P T Aやおやじの会
第3段階
地域の方々と一緒にあそび環境づくりを進める段階

7/9月の週末
第4段階
地域の方々を活用できるあそび場として機能する段階

当所の事業や園外学習での活用
国立大雪青少年交流の家では、次年度以降も引き続き、多くの地域の方々とともにさらなるあそび場整備を進めていきたいと考えています。これらの段階が相互に作用しあって、地域の幼児教育に対する理解が深まるとともに、幼児教育

関係者や教育行政関係者だけで物事を進めるのではなく、多くの方々を巻き込みながら、一緒に「子供たちのために」汗を流すことで、

第5段階
地域全体で子供の遊びを見守る風土ができる段階

につながるかと考えております。

各地域において、「子供のための遊びの環境」が、地域の方々の手によって整えられ、地域の幼児教育に対する理解が深まることを期待するとともに、大雪での森のあそび場体験を楽しんでいただけることを願っています。

担当 主任企画指導専門職 国枝 知

平成30年度

「自然を活用した幼児期の運動プログラム」事業報告書

平成31年1月 発行

発行 国立青少年教育振興機構

国立大雪青少年交流の家

〒071-0235 北海道上川郡美瑛町字白金

Tel 0166-94-3121

協力 学校法人 美瑛青葉学園あまば幼稚園
同 おやじの会

デザイン 企画指導専門職付 石川 恵理

イラスト 学生サポーター 野村 華純
法人ボランティア 吉保 七美

○本書で紹介している体験活動の中は、必ず保護者と一緒に活動を行ってください。

○当該情報につき読者の皆様は損害を被った場合でも、当交流の家は一切責任を負えません。読者ご自身の責任においてこれらの情報を御活用ください。

○無断転載・複製を禁じます。ご使用の際には、発行元まで連絡ください。